

神戸市垂水区におけるケブカアメイロアリの記録

池田健一



図1 エサキツヤハナバチ♀側面.



図2 エサキツヤハナバチ♀正面.

ハキリバチ科 Megachilidae

イマイツツハナバチ *Osmia (Helicosmia) jacoti* Cockerell 1♂

ミツバチ科 Apidae

*エサキツヤハナバチ *Ceratina (Ceratina) esakii* Yasumatsu & Hirashima 1♂ 2♀

キオビツヤハナバチ *Ceratina (Ceratinidia) flavipes* Smith 5♂

ヒロハキマダラハナバチ *Nomada pacifica* Tsuneki 1♂

ニッポンヒゲナガハナバチ *Eucera (Synhalonia) nipponensis* (Pérez) 1♂

○参考文献

- 多田内・村尾(編)(2014)日本産ハナバチ図鑑. 479pp. 文一総合出版.
 常木勝次, 1967. 氷の山のアナバチ科若干. 生物研究(福井), 11 (3/4): 44.
 常木勝次, 1969. 氷の山のアナバチ科追加. 生物研究(福井), 13 (3/4): 64.
 K. Yasumatsu & Y. Hirashima, 1969. Synopsis of the small carpenter bee genus *Ceratina* of Japan. Kontyû, 37 (1): 61-70.

(Kazushige UEMORI 九州大学生物資源環境科学府)

ケブカアメイロアリ *Nylanderia amiga* (Floreel, 1913) は体長約 2.5-3 mm ほどの褐色から黒褐色をしたアリであり, 東南アジア原産の放浪種である(寺山ら, 2014). かつては小笠原諸島や南西諸島でのみ見られたが, 本土の鹿児島県や広島県に広がった後, 兵庫県, 大阪府, 愛知県, 神奈川県, 東京都にも広がり(寺山ら, 2014), 宮崎県(那須, 2008), 長崎県(環境省自然環境局, 2013), 京都府(中嶋ら, 2013), 山口県(辻, 2018)などでも記録がある.

同じく外来アリで兵庫県でも確認されているアルゼンチンアリ *Linepithema humile* (Mayr, 1868) やヒアリ *Solenopsis invicta* Buren, 1972 では在来種への影響が確認されており(田付, 2014; 寺山, 2017), 本種では在来種への影響は現在知られていないものの, 在来種への影響の可能性を踏まえて, 継続して分布調査を行う必要があるという指摘もある(久末, 2019; 岸本・寺本, 2019).

兵庫県内では 2011 年, 2013 年, 2014 年に神戸港(環境省自然環境局, 2012; 2014; 2015), 2011 年に尼崎西宮芦屋港(環境省自然環境局, 2012), 2013 年に芦屋市(増井, 2014), 2014 年に須磨海浜公園(環境省自然環境局, 2015)で記録がある.

筆者は 2017 年 12 月 18 日 13 時半頃, 兵庫県神戸市垂水区中道 1 丁目にて本種ワーカーを撮影したのでここに報告する(図). 発見場所はコンクリートで舗装された道路と民家が多くある地点で民家の駐車場端のコンクリート上に複数個体見られた. 発見した駐車場端コンクリート付近には, 手入れされた園芸植物が植えられた鉢植えや, 駐車場地点から 2m ほど低く, 草本が多く見られる空き地が隣接しており, いずれかの地点で営巣, 採食をしていたものと思われる.



図 ケブカアメイロアリのワーカー 神戸市垂水区, 2017 年 12 月 18 日.

垂水区中道は尼崎西宮芦屋港, 神戸港, 須磨海浜公園と同じく瀬戸内海に隣接するものの, 内陸にある地点である. 本記録が兵庫県内および関西地方で最も西での記録になると思われる.

○参考文献

久未遊, 2019. 福岡県におけるケブカアメイロアリの追加記録 KORASANA, 91:17-19.
 環境省自然環境局, 2012. 平成 23 年度外来生物問題調査検討業務報告書. 224pp. 環境省自然環境局. 東京.
 環境省自然環境局, 2013. 平成 24 年度外来生物問題調査検討業務報告書, 270pp. 環境省自然環境局. 東京.
 環境省自然環境局, 2014. 平成 25 年度外来生物問題調査検討業務報告書, 328pp. 環境省自然環境局. 東京.
 環境省自然環境局, 2015. 平成 26 年度外来生物問題調査検討業務報告書, 242pp. 環境省自然環境局. 東京.
 岸本年郎・寺本匡寛, 2019. 名古屋市におけるケブカアメイロアリの定着. なごやの生物多様性, 6: 57-60.
 増井啓治, 2014. 芦屋市の街区公園におけるアリ類. 人と自然, 25: 99-104.
 中嶋智子・関誠一・片山哲郎・鶴鷹圭三・川原崎功・越智広志, 2013. 保健環境研究所構内のアリ種リスト. 京都府保険環境研究所年報, 58: 47-50.
 那須尚子, 2008. 宮崎市でケブカアメイロアリを採集. タテハモドキ, 44: 31.
 田付貞洋, 2014. アルゼンチンアリ 史上最強の侵略的外来種, 331pp. 東京大学出版会. 東京.
 寺山守, 2017. アカヒアリ (ヒアリ) 概説と最近の動向. 埼玉動物研通信 89: 1-32.
 寺山守・久保田敏・江口克之, 2014. 日本産アリ類図鑑, 278 pp. 朝倉書店. 東京.
 辻雄介, 2018. 山口県におけるアリ科の分布調査. 豊田ホテルの里ミュージアム研究報告書, 10: 11-49.

(Kenichi IKEDA 東京都狛江市)

阪神間におけるミカドアゲハの記録 2 例

神吉正雄

ミカドアゲハ *Graphium doson* の兵庫県における記録は, 近年 2008 年たつの市, 2014 年赤穂市, 2018 年加古川市から報告されているが, 宝塚市・西宮市では初めての記録と思われるので, ここで 2 例をまとめて報告しておく. なお, 両記録は採集者と相談の上, 本誌に筆者から報告することとした.

宝塚市での採集記録

宝塚市川面, 2017 年 5 月 20 日, 遠藤知二・浅野リサ採集

採集時の状況: 神戸女学院大学遠藤知二先生と学生の浅野リサさんが, 漫画家手塚治虫の少年時代に御殿山周辺で採集したチョウのデータと, 今日の同地における生息状況との比較研究をするため, 宝塚市大林寺北の尾根筋でセンサス調査をしていた. 10 時頃, カナメモチの花で吸蜜している本種を発見し採集された. 手塚浩氏に同定依頼したところ, 自然発生個体と見られるとの判断を頂いた. 標本は神戸女学院大学人間科学部の標本室に保管されている (図 1, 2).

西宮市での採集記録

西宮市甲山町兵庫県立甲山森林公園内, 2019 年 8 月 27 日, 一本松正道採集

採集時の状況: 西宮市在住で灘高生物研究部 OB の物理化学者の一本松正道氏が甲山周辺のチョウの調査・採集目的で甲山森林公園内を歩いていた時, 園内の遊歩道で落下している生体のミカドアゲハ夏型の羽化不全個体を採集された. 後日, 筆者が同定に間違いのないことを確認した. 採集された時期がミカドアゲハとすると遅い発生であることと個体の状況から見て, 公園内に飛来した雌が食樹のタイサンボクに産卵したが, 羽化する際に何らかの条件で羽化不全となり, 落下したものと考えられる. 落下した場所のすぐ上に, 食樹のタイサンボク



図 1 ミカドアゲハ, 表 (遠藤知二撮影).



図 2 ミカドアゲハ, 裏 (遠藤知二撮影).